



ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行2024年5月1日

5月 第267号

奈良・人と自然の会



<採りたてタケノコをその場でゆで上げ・・・おいしいよ～！！>
皮むきも大変だけど・・・



Contents

ホームページではカラーで見ることができます

URL <http://www.naranature.com>



ならやまプロジェクト	1	新入会員歓迎会レポ	8
Monthly Repo ならやま	2	ならやま自然観察会レポ	9
里山の今（里山・果樹）	3	私の旅のトラブルー-2	10
里山の今（虫だより・花だより）	4	ならやま投句箱	11
果樹講演会レポ	5	行事案内	12
佐保川わいわい桜祭りレポ	6	幹事会報告・こもれび	13
月例研修会（井手町・桜）レポ	7		

ならやまプロジェクト

明るく・楽しく・無理をせず
あなたも私も・力合わせて

毎年のことながら満開の川井桜は今年も私たちに元気をくれた。桜の季節はあっという間に過ぎたが、ならやまの花たちは一斉に咲き始め、里山林では鮮やかなピンク色をしたコバノミツバツツジが、自然の森ではヤマフジが散策する人を迎えてくれる。BC ではならやまプロジェクト開始当初に植えられたタラヨウが長い年月を経てようやく黄色い可愛い花を咲かせていることに気づいた。また、水田周辺の水辺ではカエルが目覚まし、西池ではザリガニもにぎやかに動き出した。

一方、早くも熱中症が話題に上り、環境省は警戒アラートの運用を始めた。暑さに馴れないこの時期、健康には十分に注意して活動しなければと思う。

山野草園が整備されてウマノスズクサはかなり小さくなっているけれど、「お菊虫」がいたのだろう、今年もジャコウアゲハが舞い始めた。



4月18日に見かけた2羽

5月の活動特記事項 活動日：2(木), 9(木), 16(木), 25(土), 30日(木)

5月2日(木)：アダプトプログラム

5月9日(木)：平城宮跡東側休耕田草刈り

5月30日(木)：安全講習会

5月の各グループ活動予定

グループ	活動予定
里山	里山林内整備 (No.5、No.22)、丸太材加工、薪割り 薪棚更新製作、楢木本伏せ準備 ユート：アカマツ、コナラの森の整備
エコファーム	畑周辺草刈り、鹿除けネット補修 野菜の定植 (ピーマン、唐辛子、スイカ、カボチャなど) サツマイモの植え付け
景観	整備：BC、彩の森、佐保自然の森の草刈り、平城宮跡東休耕田草刈り ビオ：池・水路の景観保全・整備 花：自転車道沿い花壇草引き、移植 (イチハツアヤメ)
パトロール	1～3コースパトロール 保護植物周辺整備、観察路整備、笹草刈り
果樹	コンポスト柵への材料投入、実りの森草刈り、チップ作業 果樹の銘板取付け

活動日：第4土曜日およびその他の週の木曜日 9:00～15:00

前日の19時現在の気象庁予報 (NHKTV 奈良 19時前放送) の天気予報で、奈良県北部の午前中の降雨確率 60%以上の場合は翌日、翌日も同予報であれば中止



Monthly Repo. ならやま

冨井 忠雄

3月21日(木) 晴 72名

今日は寒い日だった。倉庫の棚卸しを行う。午後、ボランティアセンターでならやま委員会を行った。

里山Gは部分皆伐地区の整備、薪割り用の玉切材の運搬など。ユートピアはアカマツ林の雑木の間伐。エコGはハウス周辺の整備、ジャガイモの植付けなど。景観Gは第3駐車場の集積した竹のチップ作業、四季の丘の整備。花班は山野草園の草引き等。ビオ班は水田南の水路の改修など。パトロールGは観察路3コースのパトロール、観察路の丸太階段補修、水洗い場改修工事。果樹Gは鹿除けフェンス下の防草シート敷き、コンポスト棚の設置など。

3月28日(木) 晴 63名



午後、ならやまの川合桜が咲きだし、やっと春らしくなってきた。

里山Gは杉、桧の間伐材の皮むき、移動、楢木置場の整備とこれからの整備計画の打合わせ。景観Gは真竹林の整備、石ころなどの除去、整理。花班は山野草園の草引きなど。ビオ班は水田南の水場の改修、西池の北側湿地の整備。パトロールGは観察路3コースのパトロール、観察路の笹草刈りなど。果樹Gは鹿除けフェンス下の防草シート敷き、コンポスト棚へ材料の投入、牛糞の受け入れなど。

4月4日(木) 晴 73名

柴田秀夫さんが入会された。11時より新入会員歓迎会を行う。午後、自然教室の一つとして春のならやま自然観察会を行う。

里山Gは今後の里山整備計画について打合せ、薪用の玉切材の運搬、BCのベンチ改修、薪割り。エコGはエンドウのつるの誘導、堆肥作業場整備。景観Gは真竹林の整備、草刈り。花班は山野草園の草引き。ビオ班は水田南の水揚げの整備、西池北側湿地の整備。パトロールGは自然教室に協力してならやま自然観察会を行う。果樹Gは鹿除けフェンス下の防草シートの設置、コンポスト棚の復興など。

4月11日(木) 晴 74名



当初予定していたアダプトプログラムを中止した。鈴木さんから5月人形制作の案内。筍が豊作であった。

里山Gは薪用の玉切材の運搬、部分皆伐地の枝木のチップ作業、薪割り。エコGはエンドウ畑のネットの補修、畑の除草。景観Gは佐保自然の森での筍掘り、BC周辺の草刈り。花班は花壇の草取り。ビオ班はザリガニの駆除と西池の草刈り。パトロールGは観察路2コースのパトロール、観察路の笹刈り。果樹Gは筍、山菜の収穫と鹿除けフェンス下の防草シート敷き。

4月18日(木) 晴 78名+県より3名

県の新しい担当の方が来訪、里山林とBC周辺をご案内した。蒟蒻作りの案内があった。

里山Gは皆伐地のチップ作業、薪割り。エコGは畑のチップ入れ、水田の整備など。景観Gは筍掘り、彩の森などの草刈り。花班は藤棚下の草取り。ビオ班はザリガニ取りなど。パトロールGは観察路の笹刈り、佐保台小学習支援自然観察会の下見。果樹Gは防草シート敷き。

里山グループ



果樹グループ

自然の中で

橘

植野 益行

寺田 孝

ベランダには、2つの皿を置いてある。そこにひまわりの種を入れておくと、翌朝には、キレイに無くなっている。小鳥たちが食べに来ているのだ。次の日は、ヒマワリの皮が辺り一面



に、散らばっている。リスが来て、完食していったのだ

ある時、エサを食べにくる小鳥を見ていると、シジュウカラ・ゴジュウカラ・ヤマガラ、

大きなカケスも、やって来た。あまり鳥の種類は知らないが、シジュウカラは、黒いネクタイをしている(雄は、太く長い・雌は、細く短い)のだが、その中に小柄でネクタイの無いのや、首の部分が黒いのが混じっていることに気付いた。昨年末の冬には、シジュウカラの子どもだと思っていたが、気になったので、スマホで検索してみると、「カラ類」に4種『シジュウカラ・ヤマガラ・ヒガラ(無)・コガラ(蝶ネクタイ)』があると、わかった。ただ、ゴジュウカラは、別種らしい。昨今は、デジタル化・AI等進化して、アナログ辞書等が無くても、何とか現在のアイテムを使えているのだが。

次世代(子や孫たち)の将来は、如何なる世界になるのだろうか。彼らには、自然の中で樹木や、小動物の事に親しみを持てる大人に、なってほしいものだ



「果樹グループ」では、この春「柑橘系」の苗木を「みかん」9本、「橘」を4本植樹しました。

奈良では「橘」を10数年前から「大和橘」として地域ブランド化して商品開発を進めています。この橘の商品開発を行っている「なら橘プロジェクト推進協議会」に、昨年「果実」を収穫して提供しています。

「橘の実」の「深い上品な酸味と爽やかな香り」を生かして様々な食品を開発。和洋菓子、お茶、ビール、橘こしょうや高級イタリア料理の香りづけなどにも広がっています。

またその成分分析研究により薬効機能も発見されています。機能性成分では、「ノビレチン」「タンゲレチン」の含有量が非常に高く、抗がん・抗認知・抗酸化作用などの薬品開発の可能性も出ているとか。

また「橘」は意外にも私達の生活の身近に存在しています。古代より「橘」は、四季変わりなく緑の葉を茂らせているため「長寿瑞祥」の縁起のいい樹木とされています。平安時代から京都御所の「右近の橘」「左近の桜」で知られ、文化勲章や500円硬貨のデザインに、また井伊家など武家の家紋や全国の神社紋にも広く使われています。

我が奈良県の縁では、「古事記」「日本書紀」によれば、「大和橘」は約2000年前に垂仁天皇の命を受けた「田道間守」が常世の国から持ち帰った「不老不死の妙薬」とされ、果実はお菓子のルーツとされています。

古代から知られ奈良にゆかりのある「橘」が様々な食品や医薬品で現代に大きくよみがえるならば、「橘」は「夢のある果実」といえます。



虫だより

サラサヤンマ

菊川 年明

5月になるとよく見かけるようになるサラサヤンマをご紹介します。サラサヤンマは小振りではありますがヤンマ(ヤンマ科のトンボ、以下同じ)特有の黄緑色と黒のまだら模様のある瀟洒なヤンマです。わが国産のヤンマの中では最も小さく、日本の特産種です。

見られる時期は4月から7月までですが、よく見られるようになるのは5月からです。ヤンマとしては早い方です。

生息域は丘陵地から低山地の木立に囲まれた湿地や底が浅く落葉で埋まった泥質の水たまりなどがある場所です。そのわけは幼虫(トンボ類の幼虫をヤゴと呼びます)がこのような場所で生育するからです。

サラサヤンマのヤゴを見付けるのはたいへん難事と言われています。普通のヤゴは水中で暮らしていますが、サラサヤンマのヤゴは落葉で埋まった泥の中で暮らしているからです。

サラサヤンマは、ならやまではさほど珍しいヤンマではありませんが、奈良県のレッドデータブックでは希少種に指定されていますので珍しい部類に属します。

ならやまでよく見かける場所は彩りの森付近と、BC前の尾根を南に越えたところにある谷道と呼んでいる付近です。たいてい10メートルくらい

の距離のところをゆっくりと行ったり来たりしています。



この場所はどちらも近くにヨシが繁った湿地があったり、泥沼があったりしているところです。名前についている「サラサ」は体の紋様を更紗様に見立てたものです。



花だより

「シャガ」って?

坪井 都子

平城山の南の谷道(通称)にシャガの群生地があります。4月初旬可愛い蕾3つに会えました。私は勝手に「シャガロード」と名付けて、楽しんでいます。

シャガは人家近くの森林周辺のやや湿った所に群生し、開花は4-5月頃、白っぽいアヤメに似た花をつけます。その花は紫の点々と黄色の模様が目立ち特徴的です。



草丈は高さが50-60cm、葉は艶のある緑色で、左右から扁平になっていますが、株の根本から左右どちらかに傾いて伸びて葉の片面だけを上に向け、その面が表のように見えます。



シャガは中国原産でかなり古くに日本に入ってきた帰化植物ですが、学名が[Iris japonica Thunb]と日本(japonica)が入っています。一旦名前が付くと、簡単に変えられない一例とのことでした。

さて、シャガは3倍体のため果実はできず、根茎からの送枝で増えます。このことから日本に存在する全てのシャガは同一の遺伝子を持ち、その分布の広がりは一時的に行われたらしいです。(参照; wikipedia、写真守口さん提供)

果樹講習会の開催 レポ

有元 康人

果樹グループは鹿の食害を受け、長い間その対策に苦慮していましたが、今回鹿除けフェンスを設置してから、果樹園に鹿の侵入がありません。

鹿の対策から解放されたことと、ミカンの苗を植えたことで、ほぼ予定の果樹が揃いました。



これからの果樹グループの方向は、果樹の管理、育成に移行します。

以前から果樹の育成管理技術の向上を目指し、果樹農家や奈良県の栽培センター等をお願いし、現地学習を行いたいと思っておりましたが、鹿の食害やコロナの影響で遅れていました。

今回奈良県農業協同組合に上記趣旨を相談したところ、奈良県北部農林振興事務所を紹介され、直接連絡し講習会等のお願いをしました。

この部署は農家を対象とした組織で、農家以外に直接指導することはできないと断られましたが、奈良・人と自然の会の取り組みを理解しており、奈良県を退職されたOBの新田晴行さんを紹介してもらい、新田さんに直接連絡し現況の説明を行ったうえで、指導をお願いしました。

第1回講習会

場 所 奈良市中部公民館

日 時 2月13日9時～12時

講 師 新田晴行

参加人数 16名(果樹グループ14名他グループ2名)

剪定などを中心とした、資料による果樹の管理の基礎的な説明を受け、グループ内のスキルの向上につながりました。

説明資料は、実りの森で保管し、分からないことはすぐ確認できるようにします。

2回目以降は実りの森等で現地指導をお願いしました。

第2回現地講習会

日 時 3月7日午前中

場 所 実りの森

内 容 実りの森の剪定を中心とした現地指導



特に数年先の樹勢を見越した果樹の剪定方法。

① 冬季剪定は12月から2月の間

② 柑橘類は暖くなった4月

ブルーベリーは酸性土壌を好む。実の付いた枝は次年度には実は付かないので、その枝は剪定する。

穴に雨水が溜まっているのを見て、環境改善が必要。

これからも定期的な指導をお願いしたところ、快諾していただきました。

今回相談にのっていただいた奈良県北部農林振興事務所と奈良県農業協同組合に、お礼申し上げます。

佐保川わいわい桜祭り レポ

◇桜ちらほら 店満開◇

鈴木 未一

佐保川わいわい桜祭りは、2019年以降コロナ禍や天候不順のため、4年間にわたり開催されなかったが、コロナ禍もほぼ収束し陽春の陽射しに恵まれた3月30日(土)、予定通り開催された。当会も通算7回目の参加をした。

前日、8人のスタッフが食材の買い付けと下ごしらえに奮闘。前回途中で食材などの買い付けに二度三度、うれしい悲鳴を上げたことから今回は多めに用意した。

前回までの経験と久しぶり開催なども考慮して、食品バザーは定番の「焼きそば」に新しく「玉茘蕪」の二品、そして、自然工作部門では、「数珠玉ブレスレット」と「紙トンボ」での出展とした。

例年であれば佐保川の桜はほぼ満開に染め尽くされるところだが、今年は3月に入っても気温が低く、全国的に1週間ほど開花が遅れていた。しかし、久しぶりの開催と好天に恵まれて、市民の皆さんの出足は順調で、10時の開会を今か今かと待ちわびる光景が、会場のあちらこちらで見受けられた。

開店間近になると客足も順調で、16人のスタッフは各自の持ち場につき、プロ顔負けの手際よい調理とお客さんへの対応に気合いが入る。



瞬く間に店の前に5人10人と列ができ、スタッフはてんやわんやの忙しさ、休む暇もない。

以前よりも出店数が少し少なく、例年出店されていた「うどん」店がなく、その影響もあってか人気店となり、客足は途絶えることなく最大で50人ほどの長蛇の列ができた。閉店時刻が1時間繰り上げられ、食材との関係もあり、列の後尾の方々にお引き取り願わなければならないほどであった。

一方、自然工作では、小学生だけではなく、保護者の皆さんも、数珠玉ブレスレットと紙トンボ作りにチャレンジ。兄弟姉妹や友達同士で数珠玉ブレスレットの出来栄を自慢しあったり、保護者の皆さんも童心にかえって一心不乱にチャレンジされるなど、微笑ましい光景を見ることができた。また、紙トンボづくりでは、思い思いに彩色したあと、飛ばそうとするが、なかなかうまくいかない。しかし、二度三度と繰り返しチャレンジして、高く飛び上がるようになった時、「やったー」と思わず声を上げ、達成感に満面の笑みを浮かべる姿に、スタッフたちも心癒される思いであった。



16人のスタッフの皆さんには、一息をつく暇もなくお客さんへの対応に追われ、昼食をとっていただく時間もなく、完売まで頑張っていました。皆様のご尽力とご協力により、従前同様に成果を挙げる事ができました。そして、何よりも当会の理念の一つである地域貢献活動としてより一層定着させることができました、本当にご苦労様でした。

月例研修会

(井手町・桜) レポ



小島 武雄

4月2日(火)朝10時、新しくなったJR玉水駅に31名が集まりました。良い天気恵まれ、暖かく風もない絶好の花見日和です。例年より桜の開花が遅く23日から始まった「井手町さくらまつり」も終盤になって玉川堤の桜がやっと3分咲きに、なんとか間に合いました。約1.5kmの両岸には500本のソメイヨシノ。見下ろす玉川の清流はキラキラと輝き、清々しい川音の中を歩いていきます。道沿いには多くの歌碑が並んでいます。

途中、井堤保存会の皆さんが、休憩所でお茶の接待での声かけや、軽やかに音を立てて回る水車を見せてくれたり、地元の農産物を並べてくれています。程よく咲いている桜の下、河川敷の水際に持参の大きなシートを広げて、しばし休憩。

荷物をそこに置いて身軽になって歩きます。



水車のそばでは、奈良時代から平安時代までの古典文学、70数年前の災害の状況、そして玉川の山吹の品種など、ふるさとボラン

ティアさんから盛りだくさんの話が聞けました。

休憩所のある井手町まちづくりセンター椿坂から、山背古道の小道に入り「小野小町塚」へ。石碑には小町晩年の歌「色も香も なつかしきかな蛙鳴く 井手のわたりの山吹の花」さらに坂道を登ると、見事に咲き誇る地蔵禅院の枝垂れ桜が迎えてくれます。もう300歳の老木ですが頑張っていました。足に余力のある人は、さらに息つく急階段の先の玉津岡神社へ。高台から見渡せば、のどかな井手町の街並みが望めます。ただ新設の近代的な町役場には少し違和感がありました。ゆっくり道端の春の野草を眺めながら、玉川堤に戻ります。清流の音を耳に持



参の弁当で昼食です。水辺にセグロセキレイが来てくれました。お酒も入って花見の宴は盛り上がります。暖かい日差しを受けて、朝は5分咲の桜がほぼ満開になりました。

皆さん都会の近くに、こんな清流と桜並木、文化と歴史の町がある事を知らなかったので、「また来年もここで花見をしたいな」との声も。



近くに草木染めの展示会があり、ちょっと寄り道の時間もありました。駅への帰り、湧水のある「蛙塚」に立ち寄った後15時解散しました。

行程3km(少し階段)皆さまお疲れ。

新入会員歓迎会 レポ

福田 美伸

4月4日(木)、昨日の雨が嘘かのように晴れ、また川井桜が満開になったならやまBCで、令和5年度に入会された新入会員歓迎のイベントが開催されました。



令和5年度の新入会員は8名で、その内、参加者は清原加代子さん、小山和夫さん、柴田秀夫さんでした。

イベントは11時45分からになりました。昼食に振る舞われたのは3月30日に行われたわいわいさくら祭りのメニューと同じ、焼きそばとこんにゃく玉に、焼きしいたけ、豚汁を加えた心づくしのメニューでした。



80人前の焼きそばを作るのは大変でしたが、焼きそば班と豚汁班に分かれて作りました。リクエストのあったネギ焼きは作りませんでした。ネギが高騰していたのと、鉄板が曲がっており、うまく焼けないためでした。



12時30分昼食後、千載会長より3名の紹介があり、続いて各自己紹介、入会動機これからの抱負を話していただきました。さらに清原加代子さんにはTV裸の大将放浪記の主題曲「野に咲く花のように」を歌っていただき、ならやまに綺麗な歌声が響きました。



来年度の新入会員歓迎会のイベントには、特に3名の方には当日料理担当のスタッフになっていただきますので、当日は休まないでください。なお、新入会員の3名には景観グループより初物のたけのこがプレゼントされました。

ならやま自然観察会レポ

小島 武雄

4月の自然教室は、早春のならやま自然観察会でした。今回もパトロールGに協力いただきました。

4月4日(木)午後1時より開始。去年は、BC周辺の身近な樹木・野草の観察でしたが、今回は、ぜひ皆さんにならやまの素晴らしい自然観察路を歩いてもらおうということにしました。



最初に参加者の体力に応じた3コースを設定しました。

春の自然教室出発

少し急な観察

路の3コースから歩く時間を30分、40分、1時間に分けて、3つのグループ分けとしました。それぞれに案内メンバー3名が付いて行きます。30分の短いコースは8人、中間40分コースには6名、約1時間の長いコースは19名で総勢33名の参加者でした。

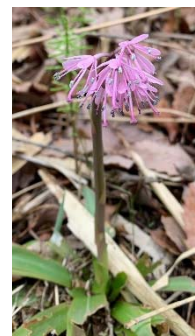


さくら山を登る

BCより出発します。まず「さくら山」から始まります。桜の植えられた斜面を見上げると、ふもとには寒緋桜の赤、上の方には大島桜が目に入ります。パトロールGが整備した真新しい観察路を上がって行きます。急斜面ですがロープ手摺で安心できます。少し登るだけですが、見下ろす景色が新鮮です。いっせいに若い芽をつけた樹々が一面に広がっています。

7種の桜の見頃はまだまだこれからのようです。横道に外れて新しい椎茸榎木置き場を眺めながら進むと、1輪だけショウジョウバカマが

咲いていました。ここから急斜面です。尾根道を上ると、「きたかべ」になります。昨年観察した北斜面の暗がりの樹木林に、コクラン、ベニシダ、トウゲシバなどが静かに隠れています。



ショウジョウバカマを観察



コクランが咲く初夏の観察会が待ち遠しく思います。さらに急な丸太階段や湿った枯葉がびっしりと張り付いた道をどんどん上ります。少し息があがったところで、明るい「見晴らしの辻」に出ます。遠くに生駒山、小さく大極殿がはっきりと見えました。そばには鮮やかなコバノミツバツツジの赤。

ここで短縮コースと分かれ、狭い下り道を通り、コクラン保護区を見て、周辺を整備したアオキが鹿による食害を受けたこと、この周辺の観察路の笹草刈りの苦労などを話しながら進みます。また、手に負えない大きな倒木箇所を里山Gに協力いただいた所を紹介し、ショウジョウバカマの群落地を案内、わずか7本ほどでしたが開花が見られました。ここまで約50分、時間が足りなくなりサイクリングロードから戻ります。途中、オドリコソウの群落地、開花終わりのノギランなどを見てBCに戻りました。期待した赤い実、白い花は少しでしたが、若々しい新芽と木々たちの息吹に触れ、約70分、充分ならやまを堪能できたと思います。秋の観察会を楽しみに。パトロールGの皆さまありがとうございました。

わたしの旅のトラブル-2
旅の醍醐味



木村 裕

南米での出来事です。パラグアイのアスンシオンからチリのサンチャゴに飛び、そこでトランジットしてアルゼンチンのメンドウサに行く予定でした。

サンチャゴではパラグアイのタム航空からチリのランチレ航空に乗り換えるので、新しい搭乗券が必要になるが、同じ機に乗っていた乗客はみんなチリに入国してしまい、トランジット客は我々のみでした。見つからないトランジットカウンターを探してうろうろ。おりよく通路に立っていた空港職員(女性)を見つけ、航空券を見せ、たどたどしいスペイン語で「メンドウサに行くにはどこに行けばよいのか」と尋ねると、「預けた荷物はあるのか」と言われて預り書を渡すと、「あのエレベータで上へ行け」と言って、航空券と預かり書をもってあさっての方に行ってしまった。よくわからないまま上に



海拔 4000m 地点からアコンカグワ山

あがると、セキュリティカウンターがありそこを抜けると広い待合室にでた。

我々は彼女が別のルートでやって来るものと思っていたが、やってこない。航空券がどこかへ行ってしまった! 誰かに尋ねようかと思ってもトランジットカウンターどころか空港職員は誰もいない。少し待ってみたけれど彼女は現れない。とにかく航空券を取り戻さなければ何処にも行けない。青くなって必死で探し回ったが見つからない。やっと搭乗予定のランチレ航空の係員を見つけ、現状説明をすると、「何も問題はない。のちほど

呼び出すから待つように」とのこと。結局1時間後にマイク放送で呼び出され、新しい搭乗券と新しい荷物預かり書を受け取りました。やれやれ! 疲れた!

アンコールワット旅行では関西空港で出発にあたり、台風がベトナムを今直撃しているので、出発が2時間遅れるとのことで、2000円の食券をもらい、早めの昼食をとった。少し儲かった感じ。

結果的にはホーチミン到着も2時間遅れて、乗継時間が切迫していた。走るようにして予定の便に乗れてやれやれ。しかし、降機地のカンボジアのシムリアップでトラブルが発覚。荷物には足がないので、積み替えが間に合わなかったようで、同じツアー仲間14組全員がロストバゲージ仲間となってしまった。幸いにも英語に堪能な方がおられ、処理はお任せて助かった。荷物は翌日の昼前にホテルに届いた。

このときの旅行はトラブル続きで、最初はホテルのバスの水のひどい汚れ、3回クレーム言っただけでやっと修理完了。帰途、セキュリティチェックで腰に下げていたカメラが引っ掛かった。バンドごと再検査となったが、いくら待ってもカメラはやってこない。カメラが消えた! 係員に言っても知らないとのこと。やっさもっさもやっている内に隣の検査レーンに流されていたことが分かってやれやれ。最後のオマケとして空港で下痢を発症し、トイレを往復することになった(前回のアンコール旅行でも下痢を発症)。

コタキナバルでの旅では、クアラルンプールで乗り換えて帰国予定でした。クアラルンプールに19時着、22:30発の予定が24:00に変更になった。しかし予定の飛行機がエンジントラブル。01時に代替機に搭乗するもまたしてもエンジントラブルで02時には降機。冷房の切れた機内で暑いのがまんしていると、04時にケーキと水の支給があり、06時に代替機でやっと出発。結局クアラルンプールに11時間滞在。おまけに下痢で意気消沈。

新ならやま投句箱

俳句

春風にはのかな花の香山の道

菊川 年明

見ごろ過ぎ次は吹雪か花筏

福田 美伸

つばみゆれ実生のフジに五月来る

小島 武雄

山ツツジ私も見えてねと薄化粧

羽尻 嵩

竹の子や十二単の晴れ姿

古川 祐司

筍づくし盃かさねはしやく老人つま

阿部 和生

花の雲行き交う人の笑みあふれ

國方 まり子

春風や長き素足の少女達

山本 美智子

花吹雪堆肥やる手を暫し止め

藤原 勲

川柳

81対77若き今ネディー懐かしや

トラキチ

母米寿初めて聞いたが八回目

猫じやら子



新ならやま投句箱への投句ありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。

短歌

ここは何処行き交う人の顔を見る ぜんさん

駄句だって何処が駄句なのピッカピカ 格違い

藤の花咲くころ集まるクマバチたち

その花の下人は宴会 戸田 博子

里桜春の嵐に散りてなお

水面を飾る花びらゆかし 千載 輝重

枝たわむ目白抱きて櫻花

道徳を叫ぶ輩や非道徳 八木 順一

雪柳桜と競演涼しげに

こつちも見てよと白波立てる 内河 洋文

玉水の桜に集いて人々の

しばし浮世のうさを忘れん 富江 文雄

ならやまの土のきざはし踏みゆけば

木漏れ日揺らす鼻月風かな 清原加代子

行事案内



5月自然教室のご案内

「ヒトモトススキを訪ねて大阪側の生駒山麓を歩く」自然観察会

小島 武雄

皆さまおなじみの田代貢先生と一緒に歩く自然観察会の案内です。(昨年雨で中止)

枚岡駅から梅園、神社を通り山裾を歩きます。登りはほとんどありません。

椋ヶ根橋～公園事務所(昼食)額田駅～線路沿いを歩き～爪切り地藏、旧生駒トンネル、孔舎衛坂駅舎跡～日下新池、健康道場跡～石切駅解散

前半は、動植物主体で後半は歴史、地学的な地域自然史、鉄道関係の話と多彩です。

皆さまこぞってご参加ください、お友達も歓迎です。

実施要項

1. 日時：5月13日(月)10時00分～15時頃(予定)
2. 集合場所：近鉄枚岡駅(奈良方面からの改札出口付近)
3. 持ち物：弁当、お茶、筆記用具、あれば図鑑とルーペ
4. その他：申し込みは不要です。

雨天時の中止は当会申し合わせ通りといたします(但し、予備日は設けておりません)

担当：小島



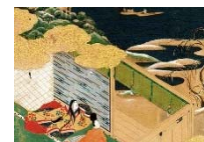
←枚岡神社

くさえざかえきあと
孔舎衛坂駅舎跡→



6月 月例研修会のご案内

新緑の宇治川で 宇治十帖を感じる旅!!



富井 忠雄

今回は紫式部ゆかりの地をたずねます。

「源氏物語」宇治十帖とは、源氏物語五十四帖の内の最後の十帖を「宇治十帖」といいます。宇治を主要な舞台として主人公の光源氏が亡くなった後の物語です。美しいと評判の薫君(かおるのきみ)と匂宮(におうのみや)、そして美しい姫君の大君・中君・浮舟の複雑で悲しい恋物語・・・新緑の白山神社から東海自然歩道のもみじ谷で昼食のよていです。

記

1. 日時：6月4日(火)
2. 集合：JR宇治駅(京都行)9時45分
参考：JR奈良駅8時57分—JR宇治駅9時34分着
3. 持物：弁当、飲物、ハイキング靴、雨具、敷物、ストック
4. 雨天実施の有無：ならやま活動の申し合わせ通り
5. 申込先：富井忠雄
6. 行程：JR宇治駅—橘橋—中の島—喜撰橋—白山神社—もみじ谷(昼食)—天ヶ瀬吊橋—琴坂・興聖寺—宇治神社—宇治上神社—源氏物語ミュージアム—宇治橋—JR宇治駅

行程約7km



天ヶ瀬吊橋(宇治川)

2024年4月度 幹事会報告

開催日:3月23日(土)

- I. 会計、総務部より
 - ・ 会員動向：142名(家族15名)変化なし
 - ・ 会計：会費収入含めて収支報告あり
- II. 活動・行事関係
 - * ならやまプロジェクト活動
 - ・ 4/4 新入会員歓迎会 新入会員の紹介と挨拶、オリエンテーション、タケノコ掘り(可能であれば)・午後ならやま自然観察会
 - ・ 4/27 土曜活動日始まる
 - ・ 5月 安全講習会を実施
 - ・ こどもゆめクラブ 9/21開催
 - ・ 7月 山の日・川の日 飯盒炊爨含め昨年通りとするが、今後検討の上変更もあり
- IV. 企画、助成金事業案件
 - ・ 事業活動報告書完成済み 他は申請済み
- V 特定議題
 - ・ 総会資料の作成 4月幹事会で最終確認する
 - ・ 幹事改選 2名退任2名新任で取りまとめ中
 - ・ 4月から土日活動について 地域向けに会の活動案内PRチラシを作成した
- VI. 広報関係
 - ・ ネイチャーなら4月号編成内容説明
 - ・ HPの表紙を分かりやすいものに、会員専用ページの内容も見直したい
- VII. 報告・連絡事項、その他
 - ・ 月例研修会：4/2 玉川河川敷で花見
 - ・ 自然教室：4/4 ならやま自然観察路歩き
 - ・ ネット通信の利用状況を調査し会員への連絡の円滑化を検討する

以上

次回：4月26日(金) 中部公民館 14:00~



醍醐味というのは、一般的には「本当のおもしろさ」や「深い味わい」といった意味で用いますが、本来、古代インドにおいて牛乳を精製する段階で生まれる5つの味のうち最後にできる最上の味を表す言葉です。「大般涅槃経」には「牛より乳を出し、乳より酪を出し、酪より生蘇を出し、生蘇より熟蘇を出し、熟蘇より醍醐を出す」とありますが、レシピはありません。奈良には飛鳥時代から「蘇」という実際に食べられる「チーズのような物」が伝わっています。「蘇」は「醍醐」の一手前?? 「蘇」を食べたら判るかな。醍醐味ってどんな味? 「深い味わい」なんでしょうね。

6月ならやま活動&行事予告

- * ならやま活動 6/6 協働活動日
- 6/13 田植え
- * 自.教：佐保台小 放課後子ども教室
- * 例.研：宇治川で宇治十帖・紫式部 6/4

会員動向(敬称略)

<入会者> 4/1 柴田 秀夫・矢野 豊
4/11 鈴木 みち子

<退会者> 3/17 山中 笙子(ご逝去)

3/31 古結 博邦・西岡 正平・高下 美知子
ノヴァク ヤロスワフ・ノヴァク 由美子
小田 進八郎・小田 久美子・吉田 登志子
村田 康晟・篠原 章二・名倉 三紀子

発行：奈良・人と自然の会

URL : <http://www.naranature.com>

編集代表 Mail: editor@naranature.com

編集委員：青木(幸)・青木(芳)・尾崎千載・田中(善)・戸田・豊田

表紙写真：今年はタケノコが、例年より早く収穫ができ大豊作で、会員は大喜びです。